

はなぞの

第328号 令和6年12月



12月の生活目標
みんなで使う物を大切に
しよう

子供たちが輝く記

副校長 幸村 香代子

12月に入り、いよいよ待ちに待った学芸会が近付いてきました。この行事に向けて、子供たちは、役になりきり表現の工夫をしてきました。また、日々の練習を通じて、互いに励まし合いながら、劇を創ることで学級の絆を深めました。

担任をしていた頃、私は学芸会が大好きでした。学芸会の年には、今年はどんな劇にしようか、「あの子」にはどんな役が向いているか、どんな動きができるか等を1学期から思案し、少しずつ授業で扱いながら様子を見て、台本を作っていました。思いを込めて作った台本でしたので、それを配った時の子供たちの嬉しそうな様子と、目を輝かせてページをめくる姿は、今でも忘れられない大切な思い出です。子供たちは、最初はセリフを覚え、声に出すだけで精一杯ですが何度も練習を重ね、大道具や小道具を友達と協力して作り、舞台に慣れてきた頃には、物語を楽しみ、生き生きと演じるようになります。子供たちが輝き出す嬉しい瞬間です。子供たちが輝き出す訳は、お家の方が準備した素敵な衣装のおかげなのか、ライトアップされた眩しい舞台のおかげなのか、効果音やBGMの刺激的な効果なのかと考えますが、それら全てが整ったからなのでしょう。そして何より、子供たちの身体の中に役が染みつき「自信」が表れてきているからに違いありません。

学芸会は、一人ではできない行事です。それぞれが、一所懸命に劇づくりに取り組み、本番を迎えたからこそ、観客の皆さんにも感動が届けられます。そして、学芸会という行事には多くの教育的効果があり、劇づくりを通して、机上の学習では得られない「学び」や道徳的価値を得ることができます。どうぞ、本番当日はご家族で「輝く子供たち」を、ご鑑賞ください。そして、温かい拍手で頑張った子供たちを包んであげてください。

学芸会を終えると間もなく冬休みです。家族の一員として家での役割をもたせることができる時間でもあります。年末年始の様々な行事で、人の役に立つ経験をする事は、子供がさらに「輝き」を増すチャンスになることでしょう。

学芸会に向けて

今年のスローガンは、「輝くパフォーマンスで会場全体を感動の渦にまきこもう」です。学芸会は、3年に一度の開催ですが、前回は(令和3年度)コロナ禍での開催だったため全学年の演目を鑑賞することができませんでした。今年度は、6日(金)が児童鑑賞日となり、全学年で一堂に会して鑑賞し合います。上級生にとっても全校児童の前で劇を披露するのは、初めての体験となります。7日(土)の保護者鑑賞日とも併せて、大観衆の前で力を発揮できるよう、全職員で支えてまいります。

只今、どの学年も最後の仕上げに向けて、全力で取り組んでいます。一人一人がめあてをもって努力し、友達のよいところを認め合い、助け合い、励まし合い、協力し合うことのすばらしさを体得できる学芸会にできればと思います。大きな行事は子供たちにとっての成長の場となります。練習の話を聞いてあげたり、頑張りを励ましたりするなど、御家庭でもサポートをお願いします。そして、当日は、大きな拍手で応援をしてください。お楽しみに。

たてわり班活動について

月に1度、学年の枠を超えて全校で楽しく過ごす時間があります。全校を8つの班に分け、6年生を中心に元気いっぱい(低学年はお兄さんやお姉さんに甘えながら)遊んでいます。

お昼休みの25分間に校内のいろいろなところで、みんなで考えた遊びをします。そして、学期に1度、給食室で作ってもらった全員お揃いのお弁当を持参して、新宿御苑に出かけます。行きも帰りも班ごとで行動します。お弁当を食べて班ごとに遊んだ後は、班対抗のリレー大会が開催されます。「ドンジャンケンリレー」や「ボール運びリレー」・・・各班みんなで協力して全力でがんばります。

今や「たてわり班活動」は花園の伝統です！

2年生 生活科見学 ～新宿郵便局・新宿中央公園～

- みんなと大きなすべり台で手をつかんですべった後に、集合写真を撮ったのが楽しかったです。
- 新宿郵便局にいろいろな道具や機械があったのすごいいと思いました。
- 郵便局に車やバイクが150台以上あることが知れて、勉強になりました。
- 新宿中央公園の大きいすべり台で、友達とすべったのが楽しかったです。
- 新宿中央公園でたくさん遊んだことが思い出です。
- 郵便局ですごかったことは、機械が1秒で11枚の手紙に消印を押せることです。
- 新宿郵便局には150台のバイクがあることが心に残りました。
- 新宿中央公園で、最後にみんなで大きなすべり台をすべり、とても楽しい1日でした。
- 新宿中央公園の大きいすべり台が楽しかったです。
- 友達とすべり台やブランコに乗ったのが楽しかったです。
- 友達みんなとすべり台で手をつないですべったし、すごいブランコにみんなで乗ったのが楽しかったです。
- 新宿郵便局では、人だけじゃなくて機械も使っていてすごいいと思いました。
- 電車に乗って新宿郵便局に行き、楽しい思い出になりました。

算数少人数教室から

算数少人数担当

算数の少人数指導は、全国的に約8割の学校で取り入れられています。これは、算数は他教科に比べて習熟度少人数指導をすると問題の正答率が高くなることが知られているためです。

花園小学校でも3年生以上の学年で毎日行われています。もともと一学級あたりの児童数が少ないのですが、習熟度により二つに分けることで、さらにきめ細かい指導を目指しています。

算数では、自分の考えを一旦ノートにまとめた上でみんなの前で発表することや、考えの根拠を示して理由を説明することを促しています。考えがなかなかまとまらない児童も、友達の意見を聞くことでヒントをもらい、理解が進むことがよくあります。少人数の集団で考えを出し合いながら学ぶ良さが感じられる毎日です。